



子ども服 リユース

児童館	住所	電話番号	引き取り時期	服の提供時期
子育て包括支援センター	小牧市小牧 3 - 555 ラビオビル 4 階	☎ 75 - 3817	毎日	毎日
篠岡児童館	池之内 3428 - 2	☎ 79 - 0690		
大城児童館	城山 3 - 2 - 4	☎ 78 - 0046		
味岡児童館	岩崎 557 - 1	☎ 75 - 4999		
小牧児童館	新町 3 - 257	☎ 77 - 0906	毎月 1 日～ 7 日	毎週第 3 日曜日～ 次の土曜日
小牧南児童館	北外山 1187	☎ 77 - 0454		
北里児童館	下小針中島 2 - 130	☎ 71 - 1183		
西部児童館	西之島 528 - 1	☎ 42 - 0205		



こども服のリユースを行っています！

ものを再利用することの良さ、大切さを子どもの頃から学ぶことが、将来のごみ減量につながると思います。市内児童館にて子ども服のリユースを行っています。

ご自宅でも不要になった子ども服をお引き取りし、欲しい方に無料でお渡ししています。

対象は、おおむね小学校低学年までの子ども服およびマタニティ服です。

不要になったものがご家庭にありましたらぜひお持ちください。

引き取りできないもの

- 洗濯されていないもの
- シミやほつれのあるもの
- 小物（帽子、靴、鞆等）
- 特定のスポーツユニフォーム
- 下着、靴下、パジャマ、水着、制服



詳しくはこちら▶

ブックレビューボタン vol.65 ～私のおすすめの本を紹介～



『今の日本に必要なこと』

『倉廩実ちて則ち礼節を知り、衣食足りて則ち榮辱を知る。』

これは古代中国の斉国の宰相「管仲」の言葉です。管仲は齊の桓公を春秋五覇の一人にまで押し上げた名宰相としてその名を歴史に刻んでいます。さて、冒頭の言葉の意味は、「人は生活が安定して初めて礼儀を弁え、道徳や倫理を心がける」というものです。管仲は言います、「まず民生を安定させ、道徳意識を高めること、これが国家存立の基礎である」と。コロナ禍の現在、日本経済は苦境に立たされています。そんな状況だからこそ、二千年以上前に偉大な先人が残した言葉から学ぶべきなのだと思います。もう一つ、管仲の言葉を紹介します。

『一年の計は穀を樹うるに如くは莫く、十年の計は木を樹うるに如くは莫く、終身の計は人を樹うるに如くは莫し。』

意味は「穀物を植えれば一年の実りが期待でき、樹木を植えれば十年の実りが期待できる。しかし、人物を育てれば一生の実りが期待できる」というものです。つまり、「教育」こそが一生尽きることにない実りをもたらす人間を育てる。教育は国家百年の大計であり、未来への先行投資です。だからこそ私は、日本の未来のために、これからも「教育」に携わり続けたいと思っています。

今回の
レビューアー



▲山本 康介さん

言語文化の素晴らしさと大切さを伝えるために、研究と修養に励み続けたいと思います。

